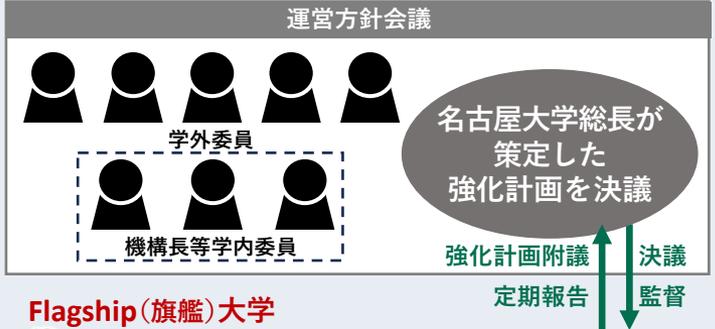


# 知的アセットの価値化による社会実装と大学の成長による知の創出のエコサイクルを実現する循環型経営システムの構築

- ・名古屋大学は、世界と伍する研究大学になるための強化計画（以下、「強化計画」）を策定・実行することで、教育・研究・社会貢献・国際連携活動を拡張し、ソーシャルインパクトを加速的に増大させる
- ・東海機構は、これを支えるユニークかつオリジナルな財務・経営基盤を構築

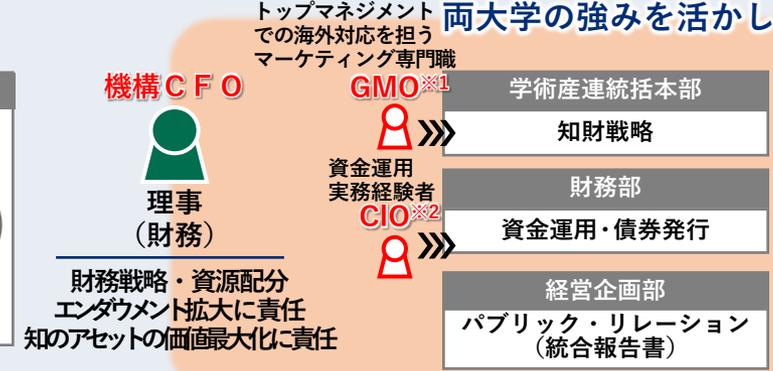
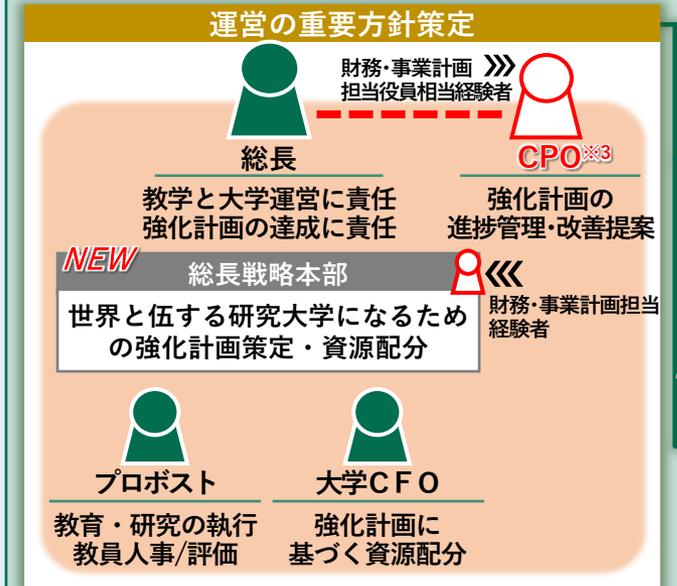
- ※1 : Global Marketing Officer
- ※2 : Chief Investment Officer
- ※3 : Chief Project management Officer

## 東海機構



Flagship (旗艦) 大学

## 名古屋大学 グローバルcommons 世界と伍する研究大学

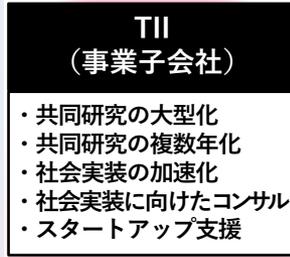


両大学の強みを活かしたシナジー創出

知的アセットの価値化を進めるためのプラットフォームを戦略的に整備、各大学の戦略に基づく取組を最大化

機構CFOは担当理事を通じて機構各部署、TII、VCなど多様なステークホルダーに渡るファイナンスにかかる取組を統括し、各大学の知的アセットの価値の最大化を図る

子会社



子会社



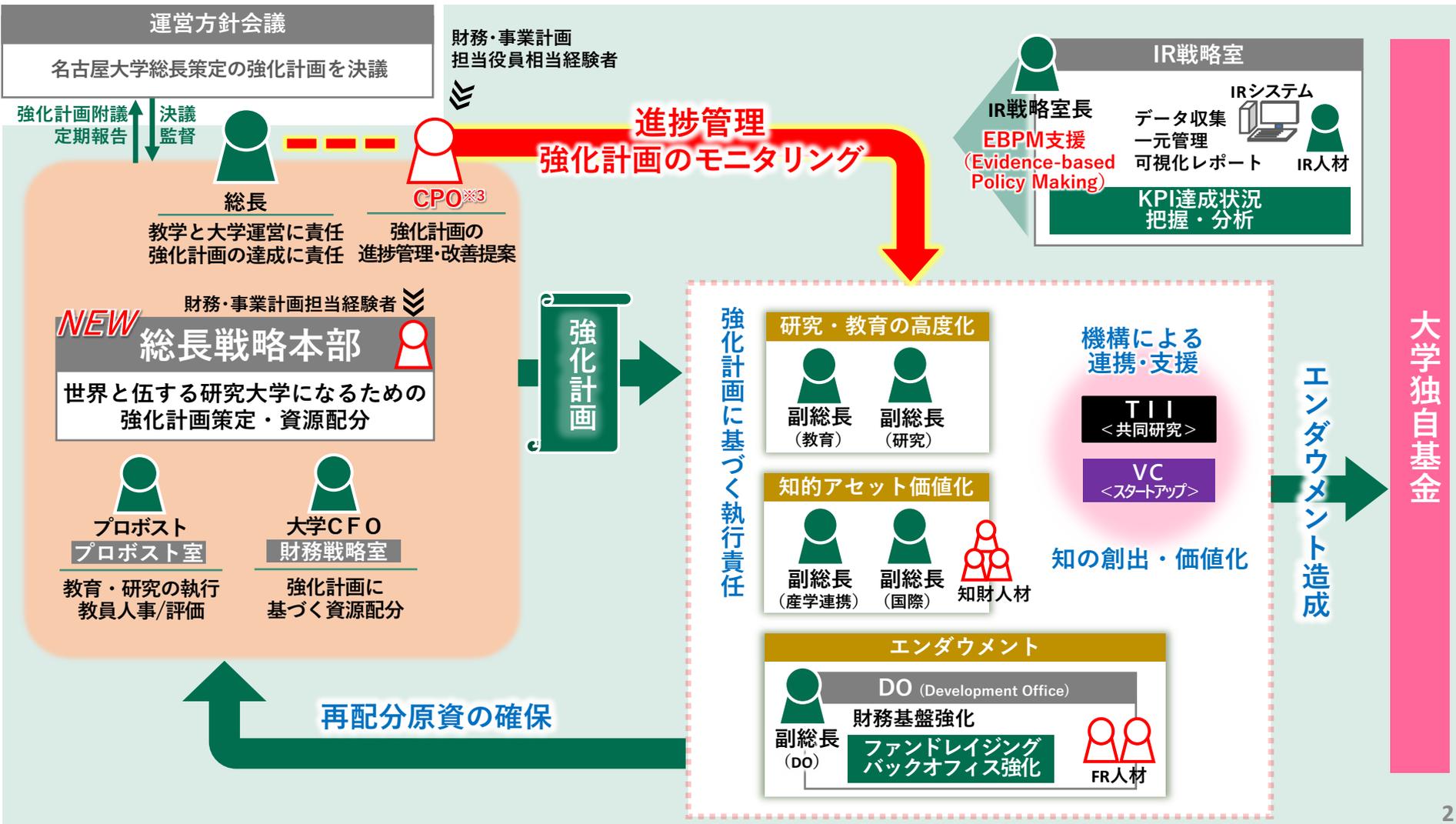
## 岐阜大学 リージョナルcommons 日本トップクラスの地域の中核大学



# 取組① 名古屋大学の教育研究活動等の拡張：総長戦略本部による強化計画実行体制の整備

- ・民間企業等での財務・事業計画担当役員相当経験者をCPOとして新たに任命するとともに、強化計画の進捗管理・監督を担う
- ・名古屋大学総長が策定した強化計画に基づき、CPOは進捗管理・監督、各担当副総長は各々教育、研究、社会貢献、国際連携活動を展開

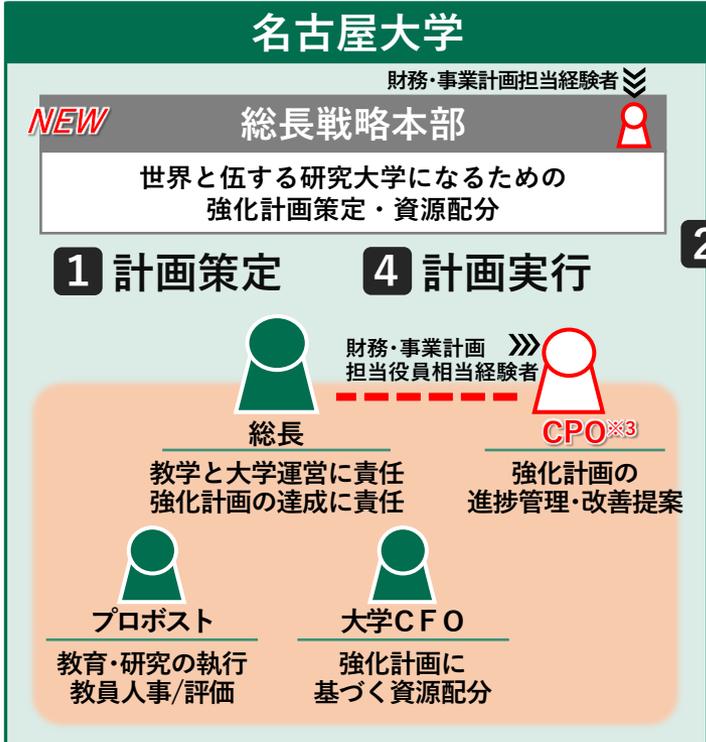
※3: Chief Project management Officer



# 取組② 東海機構の財務経営基盤の強化：機構CFOによる大学の知的アセットの価値を最大化するシステムの確立

- ・ 総長の下にプロボスト、大学CFO、CPOが参画する総長戦略本部を新設し、強化計画を確実に実行する体制を整備、名古屋大学のヘッドクォーターとして強化計画を立案し、総長による戦略的ガバナンスを強力にサポート
- ・ 東海機構は、知的アセット価値化本部を通じ、大学のニーズを踏まえ、様々な支援プラットフォームを戦略的に整備

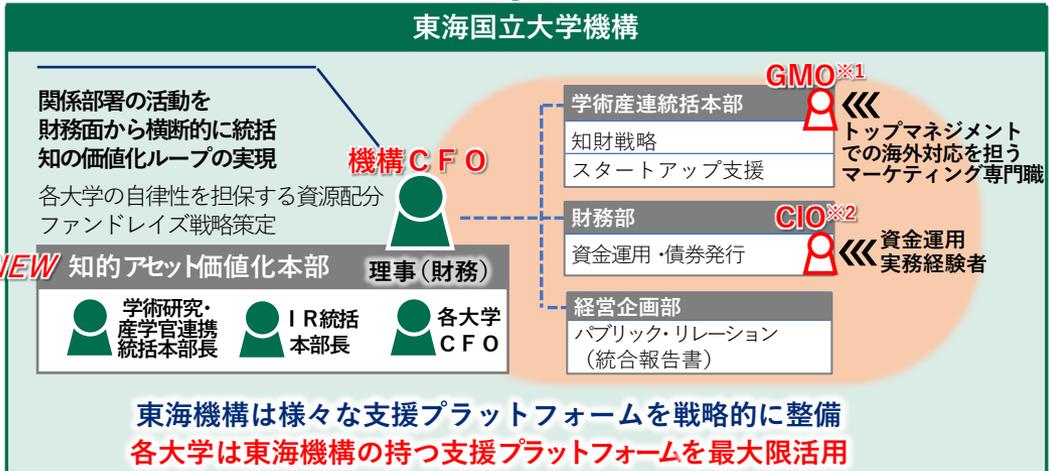
※1：Global Marketing Officer  
 ※2：Chief Investment Officer  
 ※3：Chief Project management Officer



### 3 連携協力・支援



### 2 連携提案



# 取組③ 知的アセットの価値を最大化するための機能強化及び体制整備

東海機構 学術研究・産学官連携統括本部

- ・ 新・知財管理システムの導入
- ・ 海外マーケティング専門職(GMO)の配置 (諸外国の知財関係制度に対する知見を活かし、海外における知的アセット価値化を抜本的強化)

名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部

- ・ 産学協創・国際戦略連携部門及びスタートアップ推進室と協働し、横串的機能を有する「事業開発ユニット(仮称)」の新設、企業等での知財業務経験者の配置
- ・ 単独特許に係る市場性調査の実施
- ・ 学内研究者への能動的接触を図り、研究シーズを発掘する目利き人材の配置

知的アセットの 価値化を 加速度的に推進

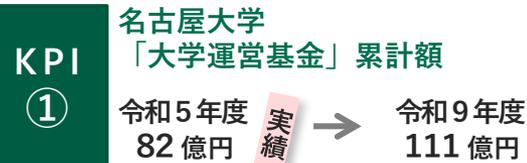
経営改革構想全体 **成果目標** 世界と伍する研究大学になるための強化計画の達成



※附属病院を除く損益計算書上の経常費用

取組① 名古屋大学の教育研究活動等の拡張：  
 総長戦略本部による強化計画実行体制の整備

**成果目標** 財務基盤の強化と  
 教育研究活動等の拡張



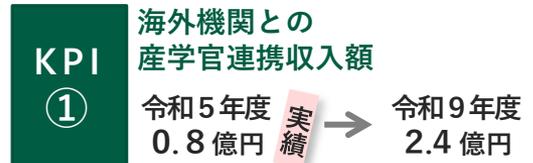
取組② 東海機構の財務経営基盤の強化：  
 機構CFOによる大学の知的アセットの価値  
 を最大化するシステムの確立

**成果目標** 積極的資金運用の拡大



取組③ 知的アセットの価値を最大化する  
 ための機能強化及び体制整備

**成果目標** 知的アセットの価値化



本事業終了後における取組の持続性の担保

増額した自己収入などから財源を捻出し、本取組を拡充していく。令和7年度から徐々に補助金の割合を低下させ、補助金支援終了後は本補助金により拡大する自己収入による自走化を図る。

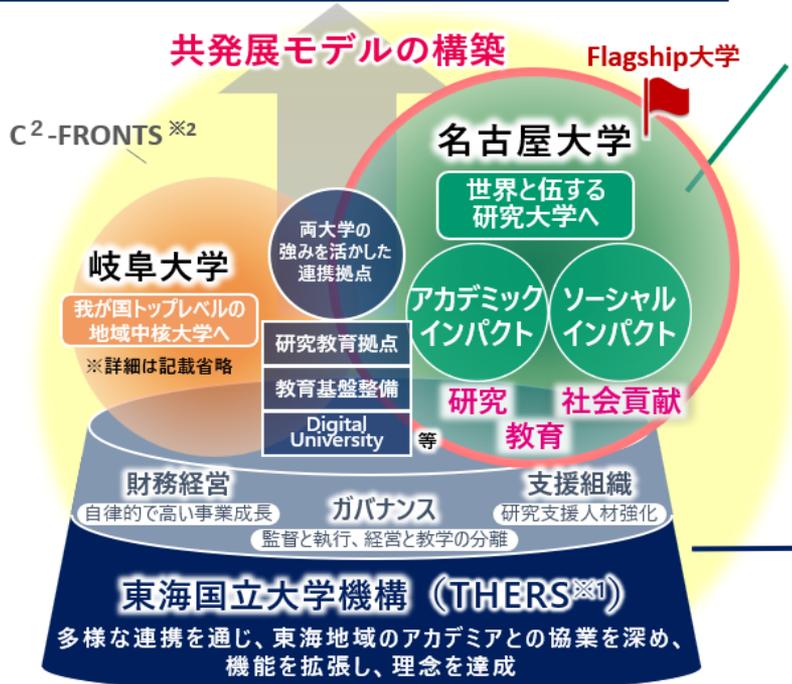
学長裁量経費・外部資金との連動

各大学の戦略に基づく知的アセットの価値化を東海機構が最大化する、ユニークかつオリジナルな経営体制の改革を推進。これにより見込まれる増収により、徐々に補助金から自己資金へシフトさせる。

# 東海国立大学機構と名古屋大学のミッション・ビジョン

## 東海国立大学機構の理念実現

Make New Standards for The Public  
社会の公共財として、「知とイノベーションのコモンズ」を実現



※1 Tokai National Higher Education and Research System

## 名古屋大学 ミッション

自由闊達な学風の下、研究と教育を通じて新たな価値を創造し人々の幸福に貢献する

## ビジョン

アカデミックインパクトとソーシャルインパクトを最大化し、卓越した研究成果により人類社会の課題解決を実現し、未来を拓く大学となる

## 強み

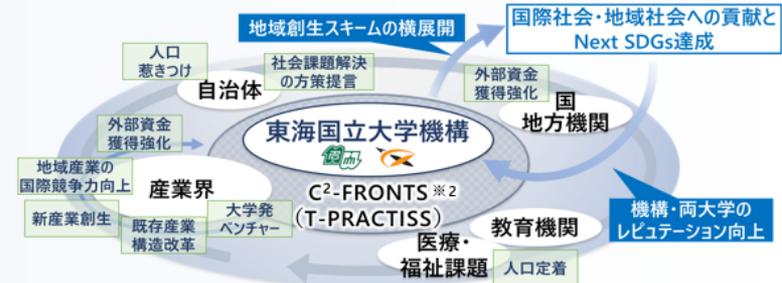
ノーベル賞受賞者6名、ものづくり拠点、アジア展開、博士教育支援、女性活躍



## T (THERS) - PRACTISS

THERS Plans to Renovate Area Chubu into Tech Innovation Smart Society

～地域創生への貢献と国際競争力強化の同時達成モデル～



※2 Collaboration and Co-creation Framework of National Universities in Tokai and Shinshu

## 経営改革構想実現に向けたこれまでの成果・実績

### 第3期中期目標期間中に採択を受けた事業の実績

- ▶ 機構発足に際し、マルチ・キャンパスシステム構築のため、財務会計システム・人事給与管理システム等を統合
- ▶ 両大学の強みを組み合わせ、糖鎖生命コア研究拠点等の研究拠点を設置

### 外部資金獲得に向けた改革

- ▶ 2023年10月にオープンイノベーション推進室の一部を外部法人化し、東海国立大学機構の100%出資子会社としてTII社を設立

### 教員人事ガバナンス改革

- ▶ プロポストを委員長とする「全学人事プロセス委員会」を設置し、戦略的な人事を行う環境を整備
- ▶ 年度評価と6年毎の関門評価を組み合わせた短期・中期的な貢献度を評価する制度を構築

### 資金配分に係るガバナンス改革

- ▶ 令和3年度から運営費交付金「成果を中心とする実績状況に基づく配分」の結果に基づいた予算配分を実施